

ナイジェリア経済月報（10月）

- ・世界銀行／IMF総会が開催され、財政支出の健全化が要請されました。
- ・2023年歳出法案が議会提出されました。今後、議会審議された後、大統領署名が行われる予定です。年内の成立が期待されます。
- ・ナイジェリア中央銀行（CBN）は、本年12月15日から流通開始、現行紙幣は、2023年1月31日まで有効とすると発表しました。

マクロ経済

1 世銀経済分析報告書によるナイジェリア経済成長見通しの下方修正

4日、世界銀行は、サブサハラアフリカ地域の経済分析報告「アフリカの鼓動」を発表、この中で、ナイジェリアの2022年のGDP成長見通しを、石油部門の不振を理由に0.5%引き下げ、3.3%とした。同報告書によると、石油・ガス部門の課題により、予測期間中に政府の赤字が増加し、2022年末には、債務GDP比が102.3%まで拡大するとしている。一方、経常収支の対GDP比は2021年の-0.4%の赤字から、2022年には1.1%に改善されると予想している。

<https://openknowledge.worldbank.org/bitstream/handle/10986/38092/EnglishReport.pdf?sequence=9&isAllowed=y>

2 IMF／世銀総会とナイジェリアの債務再編に関する動向

(1) 12日、IMF／世銀総会の財政モニターブリーフィングにおいて、IMFは、世界的な原油価格の高騰にもかかわらず、ナイジェリアは依然として歳入の問題を抱えており、世界的な食料危機の懸念が高まる中、ナイジェリア政府に対して石油収入を節約するよう求めた。また、同担当者は、アフリカの低所得国35か国のうち19か国が負債を抱えており、1.2億人以上が十分な食料を得られない状況にあると指摘するとともに、世銀の試算によると、更に1,100万人が極度の貧困に陥る可能性があるとも指摘。

<https://leadership.ng/save-oil-revenues-imf-urges-federal-govt/>

(2) 12日、マルパス世銀総裁は、同総会の冒頭記者会見で、ナイジェリアが、「債務サービス停止イニシアティブ（DSSI）超過債務処理共通フレームワーク」で認められる政務再編を世銀には要請していないことを明らかにし、ナイジェリアからの債務救済の要請は、同国の債務の持続可能性を評価することが条件となると付言。他方、11日、アフメド財務・予算国家計画大臣は、同総会時のインタビューで、連邦政府も金利上昇とドル高によって悪化した債務利払いコストの上昇に留意しており、世銀、IMF、その他の金融機関とナイジェリア

の債務再編について話し合いを開始したと発言。

<https://www.vanguardngr.com/2022/10/world-bank-says-no-debt-restructuring-request-from-nigeria/>

対外経済関係

1 ブハリ大統領の韓国訪問

(1) 27日、ソウルで、ナイジェリア石油会社（NNPC）と大宇グループの間で、カドゥナ製油所改修に関する意図表明（LOI）への署名が行われ、ブハリ大統領が立ち会った。大宇グループは、現在進行中のワリ製油所のリハビリ工事及びNLNGのトレイン7建設工事も請け負っている。カドゥナ製油所は千代田化工が建設し、1980年に運転開始された。

<https://punchng.com/nigeria-south-korea-sign-mou-on-kaduna-refinery/>

(2) 26日、ブハリ大統領は韓国の企業幹部と会談し、企業活動のための国内環境改善を表明し、韓国企業の対ナイジェリア投資拡大を求めた。特に、大統領電力構想に基づく電力インフラ改革、通関のデジタル化の推進を強調した。また、2021年現在、建設、重工業、ICT、エレクトロニクス、化学製品分野で20社以上の韓国企業がナイジェリアに進出していることを歓迎した。

<https://punchng.com/nigeria-south-korea-sign-mou-on-kaduna-refinery/>

財政

1 2023年歳出法案の議会提出

7日、大統領は、2023年歳出法案（予算案）を議会に提出。歳出法案は、20.51兆ナイラの歳出規模で、中期支出枠組み（MTEF 2023-2025）での歳出見込みの19.76兆ナイラより0.756兆ナイラ増加し、今年の予算額より約15.37%増となった。本予算案の前提条件となる経済パラメーターでは、原油価格を70ドル、原油生産量を日量169万バレル、為替レート435ナイラ／ドルを想定している。ブハリ大統領は、予算案説明の中で、電力部門改革支援のための譲許的資金利用に関し、世銀などの国際金融機関からの借入れとともに円借款（JICAと記載）の活用についても言及あり。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0WCDsGseCs2c8brqSP61wP4WB LqpSvcYJaGzerMoen7rjuL7bJmLbWxytA1AHiU99l>

<https://www.sunnewsonline.com/2023-budget-fg-targets-n1-92tn-from-oil-revenue/>

産業

1 スタートアップ法成立

19日、ブハリ大統領は、スタートアップ法案に署名、同法案は成立した。法の目的は、国内のスタートアップ発展のために法的・制度的枠組みを提供することであり、起業プロセスを容易にするため、①「ラベル付き新興企業(株式の51%以上をナイジェリア人が保有)」の起業許可等を容易にする「起業支援・関与ポータル」の設立、②起業家、投資家、技術ハブ、Nigerian Computer Society などからなる起業協議フォーラムの設立、③新興企業が成長し、規模を拡大するための資金を提供する Startup Investment Seed Fund の設立、④人材育成・能力開発、⑤税制優遇措置等が規定されている。

<https://twitter.com/MBuhari/status/1582805809104183298>

金融／通貨

1 新ナイラ紙幣発行計画の発表

26日、ナイジェリア中央銀行(CBN)は、エメフィエレ総裁による特別記者会見を通じて、流通通貨管理のため、現行紙幣を新紙幣に切り替えていく旨を発表、右発表によれば、200ナイラ、500ナイラ及び1,000ナイラの各紙幣について、新紙幣が本年12月15日から流通開始され、現行紙幣は、2023年1月31日まで有効としている。

<https://www.cbn.gov.ng/Out/2022/CCD/Press%20Remarks%20on%20New%20Naira%20BanknotesOct2022%20Final.pdf>

2 e-ナイラの導入1周年

25日、エメフィエレ中央銀行(CBN)総裁は、e-ナイラの導入1周年を記念して基調講演を行い、ナイジェリアの中央銀行デジタル通貨(CBDC)のe-ナイラは、導入から1年間に70万件以上、約80億ナイラの取引を記録、33の商業銀行と100万人の顧客が同プラットフォームを利用していることを明らかにした。同総裁は、e-ナイラがナイジェリア国民に金融サービス利用の無限の可能性を提供し、「同じナイラ、さらなる可能性」というスローガンにふさわしいものであり、特に地方で銀行口座を持たない人々を対象とした金融包摂のペースを加速させるものであると述べた。

<https://thewillnigeria.com/news/enaira-records-n8bn-transactions-on-first-anniversary-emefiele/>

エネルギー／環境

1 ブハリ大統領とシーメンス・エナジー社CEOとの会談

20日、ブハリ大統領は、シーメンス・エナジー社CEOと首相府で会談、同社及びドイツ政府とのパートナーシップを維持し、ナイジェリアの発電量向上に貢献することを約束するとともに、同社による5千人のナイジェリア人エンジニアの育成計画を歓迎した。また、大統領電力構想（PPI）の実現を確実にするよう要請した。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0G71baYUUyxyRhDQUZx2sBQ6yeejJX9J96js2vwA16QNKUuTC2QvAg28jcoLjspzY1>

2 オシンバジヨ副大統領の気候変動対策に関する発言

(1) 20日、オシンバジヨ副大統領は、シーメンス・エナジー社代表団と会談、連邦政府はエネルギー移行計画（ETP）実現のため、世界各国のエネルギー関連企業等との協力を期待している旨述べた。「シ」社側がナイジェリアの再生可能エネルギーへの移行を求めたのに対して、オシンバジヨ副大統領は、ナイジェリアの移行にはガスが必要であることを再確認した上で、液化石油ガス（LPG）へと移行に取り組んでいることを説明した。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid02jPnsfMJtaDzC5rvRZcBFDUbZ2Qm5Y6ifgXuaLfeznJqNPNprar3mQaKDyPqT4hcUI>

(2) 18日、オシンバジヨ副大統領は、スタンダード銀行主催の気候サミットで「カーボンニュートラルへのアフリカの道」と題して講演、エネルギー移行はアフリカの特異性と優先事項に公平かつ敏感でなければならないと述べた。

<https://www.facebook.com/TheAsoVilla/posts/pfbid0xsdNdUMcCo4cT1Z7JpTEzey3tzqKQ8Y5mxGduJ193b7omizveukFnsQJCgrPfdCpl>

石油・天然ガス

1 ナイジェリア国営石油会社の2021年決算

5日、ナイジェリア国営石油会社（NNPC1）のクヤリCEOは、2021年の同社の税引き後利益が6,740億ナイラに、また、純資産が16.3兆ナイラとなり、前年の2,870億ナイラ及び15.86兆ナイラからそれぞれ増加したことを記者会見で明らかにした。ナイジャーデルタ地帯での原油の盗難を防ぐため、輸出ターミナルに原油を送る主要パイプラインは現在すべて停止していることを明らかにした。

<https://punchng.com/nnpc-grows-profit-to-n674bn-assets-hit-n16-3tn/>

2 アフリカ大陸のブルーエコノミー促進に関するオシンバジヨ副大統領発言

6日、オシンバジヨ副大統領は、国際海底機構（ISA）が、連邦政府、AU、ノルウェー開発協力庁（NORAD）と協力によりアブジャで開催した、第4回アフリカ深海底資源（ADSR）ワークショップの基調講演を行い、アフリカ大陸のブルーエコノミーを促進するために、アフリカ諸国、非政府組織、民間組織等の関係者は、海底資源を利用するための努力を相乗的に行うよう呼びかけた。
<https://guardian.ng/news/osinbajo-calls-for-synergy-among-african-states-to-boost-blue-economy/>

3 OPEC石油市場月報

12日、OPEC事務局は10月の石油市場報告を発表。ナイジェリアは、9月の原油生産量が日量108.7万バレルとなり、8月の生産量から日量3万バレル増加した。OPECプラスの生産割当てに対する未達量は日量74.3万バレルだった（未達量は前月の日量76.9万バレルに比して縮小。本年2月以降、乖離幅が拡大傾向であったところ、8か月ぶりに縮小に転じた）。

https://momr.opec.org/pdf-download/res/pdf_delivery_momr.php?secToken2=2d97b37d8004916dacecb0cf653ef9ce924d3bd2

4 ナイジェリアーモロッコのガスパイプライン敷設計画

10日付 Bloomberg は、クヤリ国営石油会社（NNPC）CEOへのインタビュー記事として、NNPCは、ナイジェリアーモロッコ間のガスパイプライン敷設計画について、モロッコ政府炭化水素鉱物局（ONHYM）、ペトロセン社（セネガル）、SMH社（モーリタニア）らのパートナーとともに、2023年内に250億ドルの最終投資決定（FID）を行う可能性がある旨を報じた。パイプラインの総延長は5,600キロ、NNPCとONHYMは9月に覚書を締結。

<https://www.bloomberg.com/news/articles/2022-10-10/nigeria-s-25-billion-gas-line-may-get-investment-nod-next-year?leadSource=uverify%20wall>

5 フォルカドスオイルターミナル改修完了

13日付各紙は、シェル石油開発（SPDC）は、フォルカドスオイルターミナル改修作業が完了予定の10月末までに輸出業務を再開することを明らかにしたと報じた。これにより、ナイジェリアの原油生産量は11月末までに日量50万バレルまで増加することが期待されている。SPDCは8月に同ターミナルからの原油輸出について「不可抗力」を宣言していた。

<https://newsdiaryonline.com/shell-to-resum-crude-oil-exports-at-forcados-terminal-at->

october-end/

<https://www.thisdaylive.com/index.php/2022/10/12/breaking-shell-to-resume-crude-oil-export-at-400000bpd-forcados-terminal-by-end-of-october/>

6 洪水の天然ガス輸出への影響

19日付ロイターは、関係者の情報として、NLNG社は、大洪水による不可抗力を宣言しているが、液化天然ガス（LNG）輸出はキャンセルしていないと報じた。

<https://www.nasdaq.com/articles/nigeria-lng-has-not-yet-cancelled-cargoes-despite-force-majeure-sources>

7 石油盗難

29日、シルバ石油資源担当国務大臣代理として同省アドゥダ次官は、石油訓練所（PTI）卒業式に出席し、ナイジェリアは少なくとも日量70万バレルの原油が窃盗被害に遭っており、生産量低下による外貨収入への悪影響を抑制するために、連邦政府は関係機関と協調して対策していると述べた。

<https://guardian.ng/news/nigeria-loses-700000-barrels-of-crude-oil-to-thieves-daily-minister/>